

黒西中だより

TEL 048-768-5454

心のホット相談室 TEL 048-764-1110

<http://kuronishichu.style.cocacn.jp/>



QR コード

第 12 号

令和 3 年 3 月 1 日

生徒数

1年	107名	3学級
2年	92名	3学級
3年	105名	3学級
4組	1名	1学級
合計	305名	10学級

「負ける練習」

— 卒業式を迎えるに当たって 相田みつをさんの詩から —

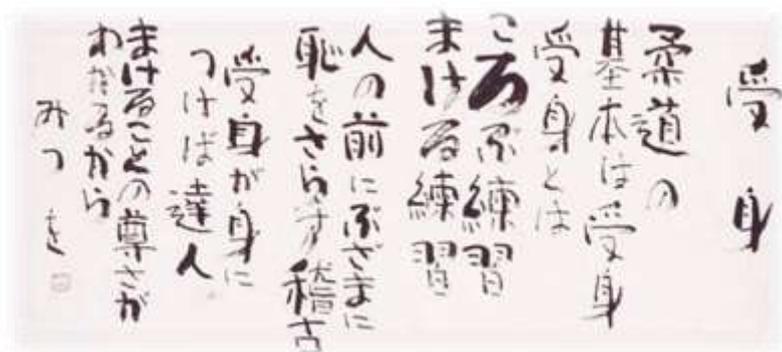
校長 青野 保

沈丁花の匂いが漂い始め、寒さにしおれていたパンジーにも勢いが戻ってきました。間もなく桜も開花しそうです。いよいよ本年度最後の月を迎えました。本年度の総まとめをしっかりとするとともに、来年度の計画をじっくりと練っていきたいと思います。新型コロナウイルス感染症の拡大状況に関してはいまだ予断を許す状況にはありませんが、現段階では卒業証書授与式を規模や内容を縮減して実施する予定で準備を進めています。全校そろっての大きな歌声はないかもしれませんが、その分、心がこもった温かい式にしたいと考えています。



さて、私は、義務教育の9年間（あるいは社会に出るまで、又は「若い」時期）は、「負ける（失敗する）」練習をする時期だと考えています。特に、社会人としての基礎を培う中学校3年間は主体的に（自分事として）考え・動き、その結果まで責任を負う、その中でたくさん失敗をする時期だと思っています。皆さんは日々の学習活動や行事などを通して、より良く生きることを学んでいます。そこでは主として、成功することや勝つこと、物事をより効率よく進めることなどを目指しています。それらは勿論大切なことです。しかし、失敗したとき、負けたときにどうすればよいのかを考えることがより大切だと考えます。やり直しがきく、特に学校という守られた環境にいる今だからこそ経験してほしいと思います。

相田みつをさんの「受身」という詩を紹介します。



周到に準備し真剣に取り組んだ結果、負けたり失敗したりしてもいいのです。その時に、その過程と原因をどのくらい突き詰めて考えられるかがより重要なのだと思います。そして、その経験が、結果として、より良く豊かな人生を送ることにつながるのだと信じています。

相田みつを著「本気」(文化出版局刊)より

真面目に、精一杯努力して失敗する者を、私たちは全力で支えていきます。それは卒業した後も同じです。「夢に向かって 自ら学ぶ 豊かでたくましい生徒（人）」であり続けてほしいと思います。

保護者、地域の皆様、一年間、本校の教育活動に対し温かい御理解・御協力を賜り誠にありがとうございました。来年度も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。